



広報

いしかわ

1

特集 2~3面

新年のあいさつ

2009

January

平成21年1月1日発行 第588号

CONTENTS



4 ミニ特集 丑年さん登場

- 8 街かど探検隊
- 10 こんにちは みんなの広場
- 12 新石川の教育 ほか
- 13 国保だより ほか
- 14 食改さんのちょっとひと工夫 ほか
- 15 カレンダー ほか
- 16 小さな美術館 ほか



さくら



すぎ



うくいす

街かどから



牛乳をたくさん飲もう!!

昨年10月、添田勉さん（北山形字気和田作）が、第28回福島県ホルスタイン共進会で農林水産大臣賞を受賞しました。

【写真上】グランドチャンピオンに輝いた「TOM リー TM号」

【写真下】添田さんは約90頭のホルスタインを飼育しています

明けまして

おめでとーなげからます



◆石川町長◆

加納 武夫

町民の皆様、明けましておめでとーございます。

皆様には、すがすがしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町政のさまざまな分野にわたりまして、町民の皆様のあたたかいご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございました。

ここに新春を迎え、石川町の一層

の躍進を期してまいりたいと心を新たにいたしております。

さて我が国では、株安と円高により、これまで日本経済を牽引してきた自動車や電気などの輸出産業で大幅な減益になるなど、企業業績の急激な落ち込みにより雇用や景気など実態経済への影響が懸念されております。

本町では、このような内外における厳しい状況を踏まえつつ、急速な少子高齢社会の到来や環境問題、高度情報化の進展など社会情勢の変化や、住民ニーズの高度化・多様化に適切に対応するため、今後10年間の

まちづくりの指針となる「第5次総合計画」を策定いたしました。

本計画の着実な実践により、「みんなが主役、協働と循環のまち」を目指し、まちづくりを進めて参ります。

限られた財源の中で、町民の満足度を高めていくためには、行政と町民が共に知恵を出し合い、柔軟な発想と大胆な実行のもとに地域力を高め、町民の力が主体的に発揮される社会を構築していくことが重要であり、私の理念である「町民の視点に立ったオープンな町政の実現」を基本スタンスに、全力でまちづくりに

取り組んで参ります。

町政を担当して3年目の春を迎えます。町民の皆様と一緒に知恵を出し合いながら、希望の光を見出すために全力を尽くす所存でありますので一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、新しい年の初めに町民の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



◆石川町議会議長◆

大野 峯

町民の皆様、明けましておめでと
うございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年アメリカに端を発した金融危機は、瞬く間に世界を席巻し、世界

現在と未来のために

的不況は、我が国経済に暗く重い影を落とし、地方にとつては終わりの見えない最大の危機を迎えております。

これまで地方は、国と歩調を合わせてきましたが、その結果、景気対策に協力し、多額の借金を背負い、相反する国の改革のしわ寄せを地方の我慢で賄うなど、今や日本社会は大きなつけと矛盾を抱え込み、その中で翻弄されております。

しかしながら、地方に住む私たちは、手をこまねき座して、つけや矛

盾を大きくして次の世代には譲れません。今やるべきことをやり、一歩確実に進まなければなりません。

これまで石川町は、同じ引出しの数のタンスをもつ自治体のひとつでありましたが、これからは新しい引出しを見つけ、他に先駆け再生していかなければなりません。新しい引出しは、懸命に探せば、町の中に必ずあるものと信じております。

「見つけること。」それは「対話」であり「活かすこと。」それが、「知恵」であると考えております。

町を再生する新しい引出しを見つけるため全議員一丸となり、毀誉褒貶に左右されない信念を持って全力で汗をかく一年にしなければならぬものと思っております。

今年こそ、皆様にとりまして幸多い年でありますことを祈念しまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



◆石川町

教育委員会教育長◆

高原 栄征

町民の皆様、明けましておめでと
うございます。今年も皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと謹んで
お慶び申し上げます。

昨年は石川町の教育振興のため多

「教育の町いしかわ」創造を!

くのお力添えを賜りありがとうございます。学校教育におきましては、「新石川の教育」を通じ、子どもたちは学習、運動、文化活動など多岐にわたる力を発揮しました。それは、学校教職員が日夜を分かたずの教育活動、保護者の方々の力強い御支援のおかげと心から感謝しております。

社会教育では、広汎な文化活動やサークル活動、スポーツ・健康学習など広く実施できたことは、今後の生涯学習の道筋を問う上で貴重な活動

であったと考えます。施設面では、中央公民館図書室の整備に関し、多くの皆様方からご好評をいただき、今後一層の活用と内容の充実を図ってまいります。

さて、今年も4月から各小中学校では新たな学習指導の基準によって学校教育が進められることとなりますが、児童生徒には確かな学力を身に付けさせ、どのように社会が変化しても自分自身の力で将来の生き方を切り拓く力(「生きる力」)を身に付けさ

せたいと考えます。そのためには、家庭、学校、行政の3者が一体となり、学習環境の改善に具体的に取り組みたいと思います。また、社会教育では、町民一人一人が、豊かな人生を送るため、従来の活動を押し進めながら、生涯学習の町内二元化を図ってまいりたいと考えます。そして、石川の教育をだれもが誇ることが出来る「教育の町いしかわ」を町民の方々とともに創造してまいりたいと思います。



丑年さん登場

今年の干支は“丑”です。そこで各地区から丑年生まれの皆様に登場していただき、①新年の抱負と②町政に望むことをテーマに、ご意見やご要望を寄せていただきました。

また、中谷第一小学校5年生のみなさんには、初めて年男年女を迎える12歳を代表して、①新年の抱負と②12年後の自分という新春の“夢”を話してもらいました。

中谷第一小学校5年生のみなさんの夢



花輪 優樹くん

- ①町水泳大会で昨年の自分の記録を抜きたい。
- ②自動車関係の仕事につきたい。

添田 匡貴くん

- ①しっかり勉強に取り組むたい。
- ②しっかり仕事に取り組むたい。

酒井純之介くん

- ①サッカーふたばカップでいい結果を残したい。
- ②サッカー関係の仕事につきたい。

田口 優也くん

- ①なわとびでハヤブサの技ができるようになりたい。
- ②五つ星料理店のシェフになる。

矢吹 りほさん

- ①クロールで自己新記録のタイムを出したい。
- ②パティシエの仕事につきたい。

小豆畑 淳也くん

- ①陸上競技大会で決勝まで残れるようになりたい。
- ②大工になって安心して暮らせる家を作りたい。

久野 皓介くん

- ①水泳で25m泳げるようになりたい。
- ②おじいちゃんに将棋で勝てるようになりたい。

角田 直彦くん

- ①二重跳びがたくさんできるようになりたい。
- ②パティシエになっておいしいケーキを作りたい。

鈴木 大くん

- ①習字が上手になって、特選をとりたい。
- ②声優になって、有名になりたい。

鈴木 綾菜さん

- ①クロールで25m泳ぎたい。
- ②動物とふれあえる仕事がしたい。

矢吹 彩香さん

- ①100m走のタイムを少しでも縮めたい。
- ②きれいな絵を描ける画家になりたい。

①石川で育ち2度目の年女を迎え、日々の早さをひしひしと実感しています。今年で24歳になりますので、料理のレパートリーを増やしたり、新しいことにチャレンジしたり、充実した1年にしたいと思っています。

②石川町に活気を取り戻すためにも、また足を運びたくなるような大きなイベントを企画し、町の活性化を図って欲しいです。そして、老若男女を問わず、安心して楽しく過ごせる町づくりを期待しています。



仁瓶 由美子さん
当町

①昨年大学を卒業して、白河の会社に勤務しています。一年目は仕事を覚えるのに精一杯でいろいろな面で余裕がありませんでしたが、今年はお客様のために一生懸命頑張っていて、信頼される人間になりたいと思っています。

②郊外の大型ショッピングセンターにお客さんが集中し、街中の商店街は閑散としています。閉まっている店等も多く見受けられます。不景気だから仕方ないと言えそうですが、もう少し活気がある町づくりに取り組みで欲しいと思います。



林 正隆さん
当町



①新年の抱負 ②町政に望むこと

和義さんの抱負

明けましておめでとうございませう。昨年は仕事が忙しく、子ども達と遊ぶ時間がとれなかったもので、今年は家族サービスの時間を作ろうと思います。また、仕事も昨年以上に頑張りたいと思いますので、今年もよろしくお願ひします。

祐子さんの抱負

今年で3度目の年女を迎えました。2人の子どもたちも元気に成長し、月日の流れの早さを改めて実感しています。現在働きたい日々を送っている中で、ゆったりとした気持ちで家族全員が健康で暮らせるよう、今年も一日一日を大切にしていきたいと思っています。

野本さんの町政に望むこと

子どもから高齢者まで、安心して暮らせる住環境づくり、みんなが笑顔で楽しく暮らせる元気のある町づくりを望みます。

通学路に街路灯がない箇所が見受けられるので、子どもたちが安心して通学できるように街路灯の増設を望みます。



野本 和義さん・祐子さん
中野字矢ノ内

①4回目の年男を迎え月日の流れの早さを感じます。会社では、ほうれん草・小松菜の生産販売を行い、常にお客様の目線に立った物作りを努めています。毎年元旦には目標を作り、家族と従業員が一丸となり、目標達成に向け努力しています。今後も周囲の方々の支えに感謝し、健康に気をつけて地域に貢献し、楽しい日々を送りたいと思います。

②地方財政は厳しく、町には様々な問題が山積していますが、諸問題解決のため、常に町民目線に立つて仕事をしたいと思っています。地域で出来ることは地域で、地域が出来ないことは行政で、互いに協力し、安全で安心して暮らせる町づくりを強く望みます。

①私は今、鮫川村で福祉の仕事をしてしています。利用者様の力、家族力、地域力を上手に引き出しながら焦らずじっくり歩み続けたいと思います。日々の努力が実りいつか石川町で仕事が出来ることを信じ、自己研鑽します。

②挨拶ってとても大事だと思いませんか？たったの3秒で人の印象が決まってしまう。明るく元気なそしてやさしい町づくりには、まず笑顔と挨拶が必要ではないでしょうか。どんな改革より一人一人の意識から……。

①農家に嫁いで仕事と子育てに追われて過ごし、いつの間にかこんな年になってしまふ時の流れの早さに驚いています。しかし、大きな気もせず今まで健康に過ごせたことは何より幸せだと感じています。これからは仕事の合間を見て旅行や温泉めぐりなどの趣味や、家庭菜園など、計画を立て健康に気をつけ頑張りたいと思います。



大井 浩子さん
当町



吉田 常一さん
新屋敷字鳥内

①今年には還暦の歳を迎え還暦にふさわしい第2の人生を迎えます。ある著書に「60歳は真のクライマックスと考へては？」とありませう。すなわち60歳にして動機を終えたあと、すべての人が迎えるものと輝かしい人生のことであると書かれています。今年も世界的な金融危機の影響により、景気後退が懸念される不安定な経済が続くことが予想されますが、私も限りある人生を充実して生きることを真剣に求めて行こうと思っています。

②石川町の人口が減少する中ではありますが、若者が安心して定住できる活気溢れる環境作りと、自信を持って誇れる歴史と伝統ある石川町を次世代に継承されるよう望んでいます。

①農家に嫁いで仕事と子育てに追われて過ごし、いつの間にかこんな年になってしまふ時の流れの早さに驚いています。しかし、大きな気もせず今まで健康に過ごせたことは何より幸せだと感じています。これからは仕事の合間を見て旅行や温泉めぐりなどの趣味や、家庭菜園など、計画を立て健康に気をつけ頑張りたいと思います。

②石川町も人口が減少し、地域の子どもの声も年々寂しさを感じています。若い人達が地元に残れるように積極的な企業誘致を望みます。石川町が夢を持ち、その夢を追いかけ、石川町が最高と言えるような町政運営をお願いいたします。



小木 美知子さん
板橋字坊屋敷



福田 徳一さん
母畑字恵瀬郷

①6回目の干支を迎え丑年にちなんで、ゆっくり急がず健康に留意して歩みたいものです。農業一筋半世紀、今は若い者に任せて孫たちが学校を終るまでと思ひ手伝わっています。10歳で父を亡くし若くして地域の方々にお世話になったので、少しでも地域の役に立てればと思ひ、現在農業関係組織の世話役などをさせてもらっています。

②町の人口減少に歯止めをかけるためにも、若い人たちが望む企業の誘致や住環境の整備をし、若者の定住促進に努めて欲しい。また、誰もが気軽に集まれる場を作り、人が集まる活気ある町づくりを努めて欲しいと思います。

①この地に生を受け、6回目の年女となりました。学生の時は校庭の桜を見て過ごし、今は町のシンボルの桜を見て体に気をつけて家族と共に野菜作りをしています。今年も体をいたわり過ごしたいと思っています。

②生まれ育った町なのでこれ以上若者達が町から出て行かないようにもつと雇用の場所を作つて欲しいと思っています。会社や病院等人の集まる場所があればもつと活気づくことと思います。



添田 マスさん
北山形字永宗田



郷 三記雄さん
新屋敷字塩塚

ネットワーク

地域づくりのために～

誰にも看取られずに亡くなり、死後しばらくたつてから発見されることを一般的に孤立死と言います。

平成15年、町内でひとり暮らし高齢者の孤立死がありました。孤立死は都会の問題ではなく、この町でも起こりうるということに関係者は大きな衝撃を受けました。そして、こんな悲しいことが二度と起こらないようにと、ひとり暮らし高齢者の見守りシステムの検討を始めました。これが地域福祉ネットワークのスタートです。

地域にひとり暮らししている高齢者に何か異変が起きた時、そのことにいち早く気付くのは、普段の様子を知っている近所の方々です。と

この町から孤立死をなくすために

地域福祉ネットワークは、隣近所の人同士が、日頃から気にかけて合い・声かけ合い・支え合うことで地域のつながりを強め、困っている人を見落とさない誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

なり近所の人同士が、これまでよりも少し意識して気にかける声かけあいながら、つながりを強め、地域ぐるみで高齢者を見守っていくことで、この町から孤立死のような悲惨な出来事が起こらないようにと、検討を重ねました。



地域の絆を強めていく

平成17年には、行政区長さんや民生児童委員さんが中心になり、地区毎に地域福祉ネットワークについての話し合いを行いました。どこの地区からも、「近所づきあいだけでなく家族内の関係も希薄になってきている」、「昔はとなり近所もみんな家族のような感覚だった」、「自分達の地区の困りごと、プライバシーの考え方、ネットワークの推進は誰の役割なのか」等々、たく

さんの声が出されました。地域のつながりがあると、ひとり暮らしの高齢者の見守りだけでなく、消費者被害や虐待の予防と早期発見、災害時の避難誘導への備え等、いろいろなことができるようになります。そして、希薄になってしまった地域の関係を見直して、しっかりとつながっていくことが必要だということを確認してきました。



▲安心して暮らせる地域づくりのために民生委員さんの意見交換会



石川町地域福祉

～誰もが安心して暮らせる

地区の活動と 地域の様子

地域福祉ネットワークとは、何か特別な組織を作ることではありません。決まった人だけが活動するものでもありません。この町に住むみんなが意識を持って、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいくものです。

今、各地区では、この活動を地域の中に広げていくために、区長さんや民生児童委員さんを中心に、話し合いや勉強会・あしんネットの標語づくり・あしんネット便りの定期発行等の取り組みがされています。



▲地区の公民館や小学校に掲示された標語
(写真は中谷地区公民館)

最近、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の方達から、こんな声を聞く機会が増えてきました。「いつまでもカーテン開けないと、隣の人が心配して来てくれるんだ」「回覧持ってきた時に、何か用事ないかいって声をかけてもらって助かるよ」「やっぱり遠くの親戚より近くの他人だない、ここに住んで良かったぞい」等々。近所の方の心配りが、高齢者の暮らしの安心を支えてくれていることを実感しています。そして、こんな温かい関係がもっともっと町中に広がっていくことを願っています。

地域みんなで 「気にかけて合い・ 見守り合い・ 声かけ合って」

現在、町には約300人のひとり暮らし高齢者、それとほぼ同じ数の障がいを持っていて、地域の中には近所付き合いが得意でなく孤立している人や、困っているもなかなか声を出せない人もいます。

地域福祉ネットワークは、この町に住んでいるひとりひとりが、自分にできる範囲で、今までよりも少し意識して、近所にある人を見守ったり、立場にある人を見守ったり、お互いに支え合いながら、誰かが困った時に見落とさない優しい地域づくりを目指しています。

みんなが意識して地域の絆を強め、子供も障がいをもっている人も高齢者も、誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくっていきましょう。

地域福祉ネットワーク講演会

日時 平成21年1月29日(木)午後6時30分～

参加費 無料(参加申し込みが必要です)

内容 第一部 パネルディスカッション

「誰もが安心して暮らせる地域づくりのために」

- ・障がいを持つ人と地域との関わり
- ・高齢者が安心して暮らせる地域とは
- ・住み慣れた我が家での看取り

場所 石川町共同福祉施設 ホール

第二部 講演

「その人らしく最期を迎えるために～在宅での看取りを考える～」

講師 渡邊睦弥 先生

(財)慈山会医学研究所付属坪井病院 緩和ケア科部長

参加申し込み・お問い合わせ先

石川町地域包括支援センター 電話26-4606 FAX26-8410



街かど探検隊



住みたくなる町に 石川町振興計画審議会から答申

11月7日、石川町振興計画審議会(西川英会長ほか14名)が、石川町第5次総合計画の基本構想で定められる将来像やまちづくりの理念、基本目標について、おおむね妥当であるとの答申を加納町長へ提出しました。

また併せて審議会での議論を反映した各分野別の意見が示され、西川会長は「自立した行財政運営と本町の特色を活かした施策の展開により、住みたくなる町、住んでよかったと思える『石川町』となるよう全力で取り組まれることを強く願います。」と述べました。

石川町第5次総合計画は今年4月からスタートします。



中学生最後の大会を飾る!! 石川中学校東北大会出場報告会

11月10日、町長室で石川中学校各種東北大会出場報告会が行われました。

ハンドボール部員21名は、8月に秋田県湯沢市で行われた第37回東北中学校ハンドボール大会に出場し準優勝。合唱部員47名は、9月に岩手県盛岡市で行われた第60回全日本合唱コンクール東北支部大会に出場し優良賞を受賞。管弦楽部員21名は、10月に宮城県名取市で行われたTBCこども音楽コンクール東北大会に出場し優秀賞を受賞しました。

3年生はこの大会が最後となりましたが、中学校生活の最後を輝かしい成績で飾ることができたこと喜びをかみしめていました。

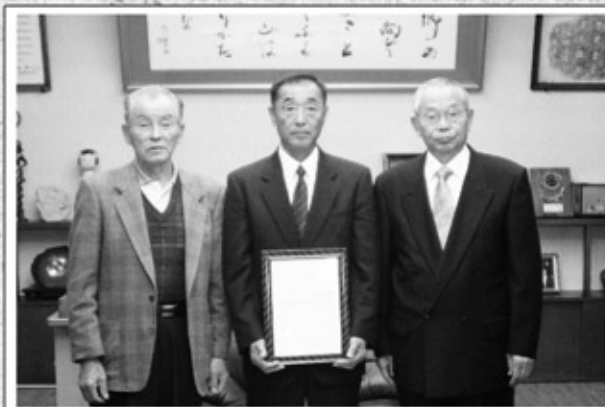


2年余りの練習を経て 初公演「ほわっといしかわミュージカル」

11月9日、石川小学校体育館でバリアフリーミュージカル「わたしたちのサウンド・オブ・ミュージック」が公演されました。

このミュージカルは「劇団ほわっといしかわミュージカル」が石川地方の障がいをもった方やその家族、ボランティアが、地域の方々からの協力を得ながら公演したもので、平成19年1月から練習を始め、今回が初舞台となりました。

当日、会場は満員となり、来場した人々は、長期間の練習を重ねた団員の名演技に魅了されていました。



農用地の更なる有効活用を 南山形集落営農組合に認定書

11月13日、南山形集落営農組合に、農用地利用規程認定書が交付されました。

農用地利用改善団体とは、地縁的なまとまりのある地域において、集落機能の活用等を通じ、地域全体の農用地の有効利用と総合的な農業生産力の増進を図るため、農業者等の自主的な合意の下に作付地の集団化、農作業の効率化、農用地の利用関係の改善等を目的とするものです。

同組合は、今回の認定により、農用地を効率的かつ総合的に利用し、集落の担い手不足の解消や遊休農地の有効活用を目指します。



戦争の悲劇を忘れない 石川町戦没者追悼式

11月13日、共同福祉施設で石川町戦没者追悼式が行われ、戦争で尊い命を失った悲しみを偲ぶ遺族など約100名が出席しました。

追悼式では、戦没者に対し出席者全員で黙とうを捧げ、石川町地方遺族会連合会長 鈴木英夫さんほかによる追悼の言葉のあと、戦没者を偲び献花が行われました。式の最後には、遺族を代表し相田喜市さんから謝辞が述べられました。

この日は、追悼式のあと遺族会主催による慰霊祭も開催され、戦没者の供養が行われました。



秋晴れのもと多くの人が 盛大に八槻市開催!!

11月23日、クリスタルロードで八槻市が開かれました。

当日は、秋晴れのもと多くの買い物客で賑わい、クリスタルロードには病除けの食べ物として重宝されるゆずやシウワガのほか、お菓子、日用品などを販売する露店が100店ほど軒を並べました。

また、クリスタルロード沿いの各駐車場では、ボランティア団体等による「ふれあい広場」、よさこい踊り、田口清&石川まさるショーなど様々な催しが行われ、各会場は人だかりがでる大賑わいでした。



交通事故の根絶に向けて 石川町交通安全大会

11月20日、石川町総合体育館で、第11回石川町交通安全大会が開催されました。

当日は、優良運転者表彰など各種表彰も行われ、東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰の交通安全賞として、交通安全功労者に水谷磯雄さん（塩沢字大日向）、優良運転者に佐藤安男さん（立ヶ岡）など多くの方が表彰されました。

また、石川小学校6年添田健太くんが「自転車に乗るときはヘルメットを着用します。」と交通安全提言を読み上げ、交通安全母の会長 金内奈緒子さんの大会宣言により、参加者全員で石川町からの交通事故根絶を誓いました。

青春… 真ん中 Q&A



職業▶自営業で塗装関係の仕事をしています。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

A 塗装関係以外の仕事を昨年から始めたので、その仕事
が成功できるように時間を大切に毎日頑張っています。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください

A いつか自分の会社を設立したい…などたくさんの夢が
あって書ききれませんが、いつまでも充実した日々を
送りたいと思っています。

須藤 豊さん(20歳)●板橋字北浮庭

Q 将来どんな町になって欲しいですか

A 若者からお年寄りまで誰もが安心して暮らせる住みや
すい環境、そして笑顔があふれている町になって欲しいです。

Q 最後に理想のタイプは

A ポジティブで何事も前向きに頑張っている人です。

▶次回は、須藤さんの紹介で松山雅美さんです。

みんなの広場



気軽にあいさつし合えるような町に

ほのぼの 二人三脚 (Q&A)



氏名：野内 良治さん (78歳)
京子さん (70歳)

住所：下泉

Q A Q A Q

お子さんは何人ですか

A 子供は4人で、孫が9人、ひ孫が2
人になりました。
結婚されて50年、思い出を聞かせて
ください

50年を振り返ると様々な思い出があ
りますが、夫婦ともに健康で暮らせ
て、子どもたちも健康で素直に育ってく
れたことが一番の幸せだと感じています。私
たちは昭和33年に結婚し、結婚当初から新
炭業を営んできました。当時は今のよう
な車社会ではなく、道路は砂利道で薪や炭を
運ぶのは専らリアカーでした。何十キロも
積み込んだリアカーで町内各地に配達しま
したが、重いリアカーで砂利道を運搬する
のは本当に大変だったと思います。
思い出深いのは、娘夫婦と4人で行った
北海道旅行です。夏の北海道は涼しいとい
うイメージで行ったものの温暖化の影響か

Q A Q

お二人の楽しみは何ですか

A 良治：友だちと行く山菜採りが毎
年楽しみです。

京子：自宅前に植栽している花の手入れが
楽しみです。

Q A Q

石川町の一番好きなところを教えてください

A 昔はきれいな川と山が大好きでした
が、今は自宅前に流れる今出川の桜
が好きです。

Q A Q

町政に望むことは何ですか

A 商店街の活性化を望みます。誰もが
笑顔で挨拶し合い、お互い気軽に声
をかけあえるような元気のある商店街が復
活して欲しいです。

HAPPY SMILE

ハッピー

スマイル



小湊 康生くん

(1歳11ヶ月)



「プーとワンワンとプーさんが大好き！いつも
までもお日様スマイルでいてね!!」

康成パパ・珠実ママより 形見字尾巻

- 「ハッピースマイル」と「集暖」では参加してくれるお子さん(3歳以下)、グループを募集しています。お気軽にお問い合わせください。石川町役場総務課 26-2111
- ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。Koho_k@town.ishikawa.fukushima.jp

こんにちは



▲華麗なスマッシュ!!



▲練習の成果を試合で発揮!!

- 開催日：毎週月・木曜日
20:00 ~ 21:00
- 場所：中谷地区公民館

◀サークル紹介コーナー▶第46回

しゅう

だん

あつ

あたた

集

暖

まれば

かい



あすかクラブ

私達は、町内の13人の仲間が集まり、バドミントンで健康づくりに励んでいるサークルです。

私たちは、子どもから大人まで幅広い年代がバドミントンというスポーツをともに楽しみ、世代を超えた交流ができればと思うて毎週活動しています。

昨年の北京オリンピックでは、オグシオやスエマエなどの日本勢も活躍し、バドミントンも近年にない盛り上がりがあります。

バドミントンは初心者も気軽に楽しむことができ、上級者は駆け引きを楽しむ奥の深いスポーツです。

あすかクラブでは、一緒にバドミントンを楽しんでもくれる仲間を募集しています。興味のある方はぜひ会場へお越しください。バドミントンで一緒に爽やかな汗を流して心身ともにリフレッシュしましょう。

～注目されている「石川町の小中連携教育」～

小学校から中学校への移行は、学習面では“具体から抽象へ”、生活面では“小規模集団から大規模集団へ”、そして“学級担任制から教科担任制へ”であります。この時期に「中1ギャップ」といわれる“中学校生活になじめない”現象が起きやすいのです。

「新石川の教育」では、小中の壁を低くし、学力・生活面で小学校から中学校へ滑らかな移行ができる研究に力点を置き、「中1ギャップ」を解消する手だてとして「フライデーコネクション」を実施しています。その集大成というべき「研究報告会」を実施しました。

町内はじめ県内の教職員180余名が石川中学校で行われた授業研究と、共同福祉施設で行われた研究報告会・講演会に集いました。

授業は「数学科」で、主指導者に石川・沢田両中5名の教師、副指導者が小学校8校10名の教師が当たりました。

授業は「トランプゲームを利用した正負の数の計算」で、子どもたちは楽しみながら学習でき、さらに、小学校の先生の支援もあり、安心して70分の学習に集中できました。

報告会では、展示と映像などにより、3年間の取り組みを具体例や調査結果を基に分かりやすく報告されました。東京学芸大学の藤井穂高先生からは、「全国的に同様の研究をしているが、石川町の取り組みは小中教職員の真摯な取り組みが評価できる。また、実のある数値的にも有効な研究である」との講評がありました。



▲一斉にトランプを見せ合い持ち札の計算をしています



▲委員会、部会活動の様子を展示発表しました

『新石川の教育』

紹介コーナー

宝物をさがして

36

和久観音山鉱山跡

和久

石川地方は、日本三大鉱物産地の一つに数えられ、明治の終りごろから昭和40年代まで盛んに鉱物の採掘が行われました。和久観音山鉱山跡は、石川鉱石採掘跡保存会のご尽力により、町内で見学ができる唯一の鉱山跡として復原されました。今でも、結晶の大きな水晶、電気石、ザクロ石などを見ることが出来ます。



▲野木沢駅から県道母畑・白河線を矢吹方面へ向かい、すぐ左折。



▶金田川の南岸に旧鉱山跡があります。写真は第1鉱体。



▶結晶の大きな長石・珪石。石川町で採取される鉱物の特徴です。



▲第2鉱体の露頭とズリ。

お問い合わせは、石川町立歴史民俗資料館（26-3768）までお願いします

★出産育児一時金が増額されます★

石川町の国民健康保険に加入されている方の出産育児一時金が増額になります。

出産育児一時金は国保の被保険者が出産された時に、世帯主に対して支給されるものです。これまで給付額は1件の出産について35万円でしたが、平成21年1月から38万円になります。一時金の給付を受けるためには世帯主からの申請が必要です。

また、町では、出産費用支払いの際の負担軽減のために「受取代理制度」（町から病院に一時金を直接振り込む方法）も実施していますのでご利用ください。なお、一時金の申請方法等についてご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。



★国民健康保険被保険者証の交換をお願いします★

保険証の有効期限が平成20年9月30日となっている保険証は旧保険証となり10月1日以降使用できません。

昨年9月下旬に各地区公民館で国民健康保険証の交換を行いました。まだ、保険証の交換がお済みでない方は、至急、旧保険証を持参のうえ役場国保年金係窓口で交換をお願いします。

なお、旧保険証を紛失された方は、印鑑と身分証明書（免許証等）を持参してください。



●お問い合わせ先●

町民生活課 国保年金係 ☎ 26 - 9125

介護支援コーナー

介護の窓

「老若男女みんなで考える『介護』」



昨年11月に山橋地区公民館で、家族介護教室「老若男女みんなで考える『介護』」を開催しました。

この教室は、若い・認知症・介護・家族や地域のつながりなど、介護にまつわることをみんなで話し合い考える教室で、10代から70代までの幅広い年代の人が参加しました。家族でどう介護していくのか、地域でどう関わるのかなどをみんなで身近な問題として考え話し合いました。参加者からは、地域での支え合いが大事で、いずれば地域の方や認知症サポーターが協力して、高齢者や介護者をサポートできればとの意見が多く出され、とても頼もしく感じました。

地域包括支援センターでは、今後も各地区で家族介護教室を開催し、地域全体で支え合える関係づくり、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、活動していきたいと思えます。

《参加者の声》

● 身近に認知症の方がいないので実感がないのですが、もしそのような方がいたら話を聞いたり、優しく接したりしたいと思えます。

● 介護する立場、介護される立場、今まで考えたこともなかったが、教室に参加したことで、自分を見直すことができました。

● こういう時代だからこそ、一人でも多くの人が家族や地域の絆を大切に、より良い家族・地域づくりができればと思います。



▲家族介護教室の様子

食改さんが伝える健康になるコツがわかる!!

「ヘルスサポーター21事業」

保健センターだより

第46回

～健康づくりにはバランスのとれた食事と運動が大切～

ヘルスサポーター21事業とは、食生活改善推進員が中心となり、家族から地域へ、子どもから高齢者まで全ての町民の皆様が、ヘルスサポーターとなって自ら健康づくりを実践し、「健康日本21」を目標に行なう事業です。

昨年開催した「ヘルスサポーター21事業」では、一般町民40名、食生活改善推進員15名参加のもと「肥満・減塩予防メニュー」をテーマに調理実習と運動を行いました。

気軽にできる運動

運動では、「自宅でできる簡単筋力トレーニング」と題して、ストレッチ、椅子を使った筋肉体操、ウォーキング、ゴムチューブ体操を行いました。健康づくりには食事とともに運動も大切です。

肥満や減塩を予防するヘルシーメニュー

「肥満や減塩を予防するヘルシーメニュー」では、雑穀ご飯、鯖の竜田揚げきのこあんかけ、小松菜の梅肉和え、豆腐とわかめのみそ汁、梅ゼリーを食生活改善推進員の説明をもとに実習しました。

このメニューは、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維、カルシウムが豊富で栄養のバランスがとれています。

「鯖の竜田揚げきのこあんかけ」

手軽に使える鯖をひと工夫して、季節の食材を合わせた「鯖の竜田揚げきのこあんかけ」は、キノコのあんをかけることで食べやすくいつもと違う鯖料理が味わえます。

「雑穀ご飯」

「雑穀ご飯」は、ミネラルや食物繊維が豊富なので便秘予防にも役立ちますが、肥満の原因になる脂質を排出する作用もあります。



「小松菜の梅肉和え」

「小松菜の梅肉和え」は、旬の野菜を使い梅肉で和えることで、さっぱりとした味付けになり油料理などに合う和え物です。じゃこを混ぜたことで、野菜のビタミンと一緒にカルシウムがとれて骨粗しょう症予防におすすめです。

「みそ汁」

「みそ汁」は、だしのとり方をひと工夫することで塩分を減らすことが出来ます。頭まで食べられる小さめの煮干しで、しっかりだしをとり、季節の野菜を沢山加えることで、だしと野菜の旨味で少ない味噌の量でも十分おいしく出来ます。

石川町食生活改善推進員は、主食・主菜・副菜・汁物の組み合わせを大事にしながら、バランスの良い食事をとり健康な体をつくるため、食の大切さを伝えています。

『鯖の竜田揚げきのこあんかけ』の作り方

●材料（5人分）

- さば……………5切れ
酒……………大さじ1/2
A [しょうゆ……………大さじ1/2
生姜（すりおろし）……………5g
片栗粉……………適量
油……………適量
しいたけ、えのき茸、しめじ……………各50g
人参、玉ねぎ……………各75g
しょうゆ……………大さじ1と1/2
酢……………小さじ2
B 砂糖……………大さじ1弱
みりん……………大さじ1弱
出し汁又は水……………250cc
片栗粉……………大さじ1

●作り方

- ①鯖は酒をふりかけ臭みを取る。Aに鯖を入れ、15分ほど冷蔵庫で下味をつける。（冷凍さばを使用する場合は、熱湯をかけてから下味をつける。）
- ②①を取り出し、キッチンペーパーで水気をとり片栗粉をまぶして、フライパンに油を多めに入れ中火で熱し、皮を下にして焼く。焼き色が付いたら裏返して焼き揚げる。
- ③キノコ類は食べやすい大きさに切る。その他の野菜は千切りにする。
- ④鍋にBと③を入れ、火が通ったら、水で溶いた片栗粉を加えてトロミがつくまで混ぜる。
器に②の鯖を盛り付け、上から④のあんをかけて出来上がり。





(平成20年11月1日～11月30日まで届出分 敬称略)



こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
諸岡 大輝	(弘 貴・徳 子)	下 泉
三森 拓也	(信 由・祐 希)	新屋敷
野崎 有亮	(晶 之・美 保)	沢 井
薄井 環太	(義 広・正 江)	下 泉
増子 冬弥	(英 樹・美由紀)	沢 井

佐川 りお (茂 美・智 美) 赤 羽

※10月届け出分に掲載漏れがありましたので、ここに掲載しお詫び申し上げます。



カップル誕生

新 郎 新 婦 (出身地)

木戸 竜也 (双 里)・水野 直美 (境ノ内)
後藤 寛明 (下 泉)・橋本真奈美 (須賀川市)



おくやみ

氏名	住 所
永 沼 力	湯郷渡
板 橋 友 美	板 橋
塩 澤 ミ イ	母 畑
伊 藤 義 久	大 内
藤 田 久 三	松木下
岩 下 昌 三	形 見
矢 吹 良 吉	谷 沢
深 谷 宣	南山形
酒 井 芳 雄	谷 沢
熊 懷 ヤ 工	鹿ノ坂
吉 田 初 枝	下 泉
斎 藤 廣 子	中 野

CALENDAR

石川町 1 ～ 2 月の主な予定

1 月 ● January

15 木		
16 金		
17 土		
18 日	在宅当番医	浅川南診療所
19 月		
20 火		
21 水		
22 木	3歳3ヶ月児健診 (13:00～) 社会保険事務所年金相談会 (10:00～15:00)	保健センター 勤労青少年ホーム
23 金	心配ごと相談 (10:00～)	老人福祉センター
24 土	行政相談会 (9:00～12:00)	中央公民館
25 日	在宅当番医	味原医院
26 月		
27 火		
28 水	1歳児健診 (9:30～)	保健センター
29 木		
30 金		
31 土		

※1月12日(月)の在宅当番医は添田医院に変更になりました。

2 月 ● February

1 日	在宅当番医	ひらた中央病院
2 月		
3 火		
4 水	2歳児教室 (9:30～)	保健センター
5 木	1歳6ヶ月児健診 (13:00～)	保健センター
6 金		
7 土		
8 日	在宅当番医	ひらた中央病院
9 月	町県民税申告相談会開始	共同福祉施設
10 火	心配ごと相談 (10:00～)	老人福祉センター
11 水	在宅当番医	ひらた中央病院
12 木	3～4ヶ月児健診 (13:00～) BCG予防接種 (13:00～)	保健センター 保健センター
13 金		
14 土	行政書士無料相談会 (10:00～15:00)	中央公民館
15 日	在宅当番医	田中内科医院

今月の 納期

● 1月26日までに納めましょう

固定資産税 (第4期)

国民健康保険税 (第7期)

● 2月2日までに納めましょう

後期高齢者医療保険料 (第6期)

小さな美術館

第262回

野木沢
小学校

【施設紹介】

緑豊かな希望ヶ丘に見守られた野木沢小学校には、元気な野木っ子が通っています。野木っ子の合い言葉は、「のびのび・きらきら・さわやか・わくわく。」何ごとも本気で取り組む132名の子どもたちです。

「運命を運ぶ鳥たち」



なおと
太田 直人くん (6年)

子どもたちに幸せを運ぶ鳥たちが、自分の役目を終え帰るところをかきました。

「いつも見ている風景」



ひなこ
相楽 日向子さん (5年)

私がかいたこの学校がいつまでもきれいなままでずっとあって欲しいと願いながらかきました。

「夜空に輝く友だちののって」



りょうか
遠野 涼香さん (3年)

星の形の不思議な乗り物に乗って友だちと夜空へやってきたよ。乗り物には楽しいお部屋や楽しいしかけがたくさんあるよ。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も「広報いしかわ」をよろしくをお願いします。今年は丑年です。牛歩戦術などと例えられるように丑の歩みは大変ゆっくりですが、どんなスピードで疾走しようと一歩一歩前に進むことが大切です。「ウサギと亀」は最後には歩みののろい亀が勝ちます。「牛の歩みも千里」。私の歩みも非常にゆっくりですが、一歩一歩大切に歩もうと思います。

(矢内清春)

町民憲章

1. 自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
1. 親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
1. 歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう

ふるさとの花だより



イチリンソウ (キンポウゲ科)

山地や丘陵の林の縁、竹やぶなどに生える多年草です。茎葉の間から1本の長い柄を出し、先端に4センチほどの白色の花が上向きに咲きます。薄紅から薄紫色を帯びることもあり、花びら状の楕円形の萼片が5〜6枚あり花弁はありません。花期は4月〜5月です。

(写真提供/関根政信さん)

表紙の 登場人物

野木沢保育所に通う草野 夏生(なつき)ちゃん、唯(ゆい)ちゃん、祖父の一さん、祖母の陽子さんです。



町の人口

●12月1日現在住民基本台帳●

	18,155人 (△17)
男	8,876人 (△5)
女	9,279人 (△12)
世帯数	5,706戸 (4)

()内前月比